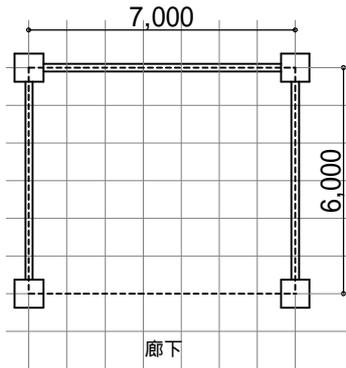
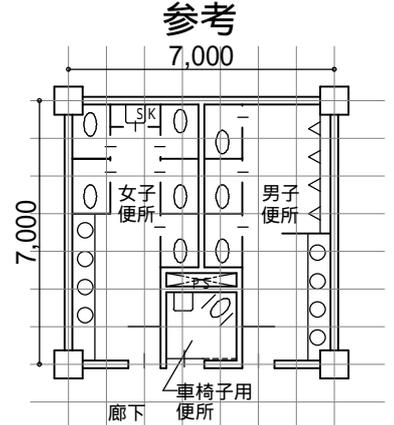


# 製図試験基礎トリアル 単位空間編1(便所)

1. 下図の様な状況において、点線の範囲で客用便所を計画せよ。設置する項目は、次のとおりである。

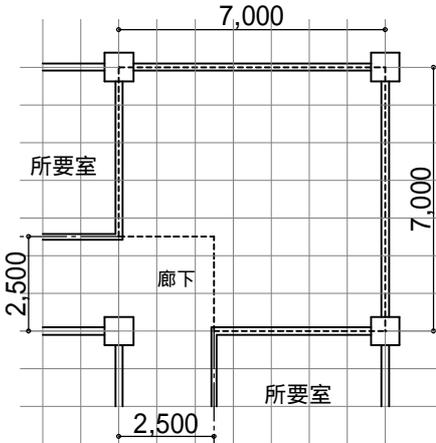


- 設置項目
- 男子便所: 大便器2ケ、小便器4ケ  
手洗器3ケ
  - 女子便所: 大便器4ケ、手洗器4ケ  
SK(雑巾流し)1ケ
  - 車椅子使用者用便所: 大便器1ケ、手洗器1ケ  
手摺
- PS

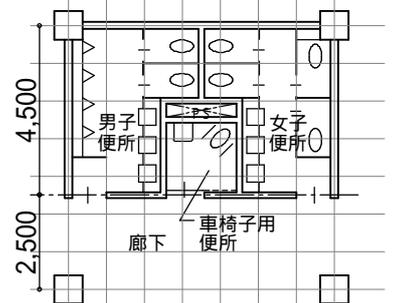


1コマタイプ

2. 下図の様な状況において、点線の範囲で客用便所を計画せよ。設置する項目は、次のとおりである。



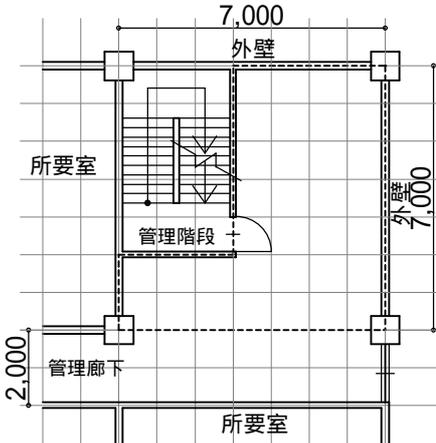
- 設置項目
- 男子便所: 大便器2ケ、小便器4ケ  
手洗器3ケ
  - 女子便所: 大便器4ケ、手洗器3ケ  
SK(雑巾流し)1ケ
  - 車椅子使用者用便所: 大便器1ケ、手洗器1ケ  
手摺
- PS



廊下併用タイプ

3. 下図の様な状況において、点線の範囲で職員用便所、湯沸室、DS、管理廊下、及び通用口を計画せよ。

設置する項目は、次のとおりである。



- 設置項目
- 職員用男子便所: 大便器1ケ、小便器1ケ  
手洗器1ケ
  - 職員用女子便所: 大便器1ケ、手洗器1ケ
  - 湯沸室: 流し台(電気コンロ付)1ケ
  - 管理廊下: 点線の範囲外の管理廊下と接続し、通用口に至るものとする。
  - 通用口: いずれかの外壁に設ける。
  - DS(ダクトスペース): 直下に機械室があるものとし、  
5㎡以上、8㎡以下とする。

1階平面

4. 下図の様な状況において、点線の範囲を有効に使い、車椅子使用者用を含む客用便所を計画せよ。

尚、便器、手洗器等の数は適宜とする。

